ふじのくにの地域外交 ―モンゴル編―

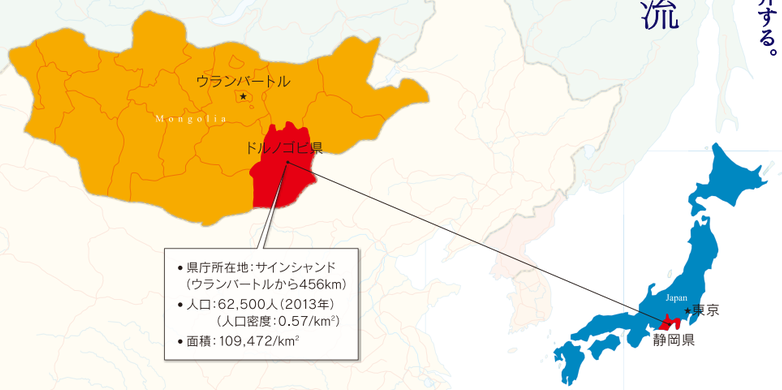
グローバル化が進む現代。国際交流、あるいは姉妹都市などの看板を掲げ、地方自治体が海外と様々な形で交流している。その中で、静岡県が掲げているのが、「地域外交」というコンセプトだ。将来に向け戦略的な「外交」を展開することで国際的な存在感を高め、新しい国づくりの先導役となることを目指す、静岡県の「地域外交」の取組を紹介する。

大いなる可能性の国 モンゴルとの交流

次代を切り拓くスピード感

交通インフラの整備、インターネットによる情報ネットワークの広がりなど、世界との窓が増えたことにより自治体が海外と直接交流する時代を迎え、静岡県も中国、韓国、モンゴル、台湾、東南アジア、アメリカと積極的に交流を進めている。中でも2011年7月に友好協定を結んだモンゴル・ドルノゴビ県との交流は、今後の地域外交の可能性を語る上で、重要な意味を持つものになった。

モンゴルと日本は1972年に外交関係を樹立して以来、40年以上にわたって文化やスポーツの分野で活発に交流を進めてきた。近年の大相撲におけるモンゴル出身力士の活躍はその好例だ。2010年には両国の共同声明の中で「戦略的パートナーシップ」の構築がうたわれている。その中で、同年8月、静岡県知事がモンゴルを訪問。ドルノゴビ県知事と意見を交わし、同年11月にモンゴル大統領立ち会いの下で、相互協力に関する覚書を締結。翌年7月に静岡県知事が168名の県民交流団とともにモンゴルを訪問し、同県と友好協定を締結するに至った。協定締結に至るこのスピード感は画期的だ。



- 県庁所在地：サインシャンド（ウランバートルから456km）
- 人口：62,500人（2013年）（人口密度：0.57/km²）
- 面積：109,472/km²

例をみない国と地方自治体間の覚書

ドルノゴビ県のドルノゴビとは、「ゴビ砂漠の東」を意味し、モンゴルの南東端、中国との窓口に位置する。また、石炭、石油、ウラン等鉱物資源が豊富な地域として知られている。

2011年、同県と交わされた友好協定を皮切りに両県の交流は、教育・文化、行政、経済、スポーツなどの多分野で進んでいる。高校生の相互交流、畜産分野などの技術研修員の受入れ、医師等の医療関係者の研修受入れ、火力発電技術者の研修、モンゴル国立フィルハーモニー管弦楽団の招聘など幅広い。また友好交流の証として静岡県は県内の市町や病院の協力を得てドルノゴビ県に消防車、救急車、病院機材なども寄贈している。

こうした活発な交流実績が認められて、2014年5月、静岡県は、モンゴル国工業・農牧業省からの働きかけにより、同省と経済交流に関する覚書を取り交わした。日本の地方自治体が外国政府の省庁と経済分野で覚書を交わしたのは全国でも例がないことだ。

静岡県の中長期的なビジョン

静岡県は、モンゴル国工業・農牧業省と交わした覚書を足がかりに、農業や畜産分野などの技術研修員の受入れ等の人的交流を行いながら、モンゴル国への県内企業の進出促進や双方の産品の販路拡大などを進めていく方針だ。また、中長期的展望としては、経済成長が著しく、鉱物資源が豊富で今後の発展が見込まれるモンゴル国の将来性を見据え、ドルノゴビ県との交流を核として、高校生交流、農業・医療分野での技術研修員の受入れなどを通じて静岡県とモンゴルの架け橋となる人材の育成を図ろうとしている。同時に教育、文化分野での交流や、現地の社会・生活基盤整備への協力も進めていく。

大きな可能性への期待

地域外交がもたらす恩恵は計り知れない。中でも大きな期待が寄せられているのは交流地域における本県に対する好印象という大きなソフトパワーだ。例えばドルノゴビ県から高校生などの若者を年間50人受入れることで、その数は10年で500人にのぼる。10年後には実際に訪問した本人の家族や友人を含め、ドルノゴビ県の核となる世代の多くが静岡県を知るということである。毎年50人という数は国際交流という枠組みの中では決して大きな数字ではないが、ドルノゴビ県の全人口が約6万人であることを考慮すれば、与えるインパクトは極めて大きなものになるであろう。それは、将来、ドルノゴビ県をリードする人材の中に、静岡県を訪れたことがあるという方が相当の割合で存在することになるからだ。

国対国ではあり得ない濃密な交流が両県に有形無形の多大な恩恵をもたらすことは間違いないだろう。また、国家間の交流ではさまざまな利害が絡むため、合意を取り付けるまでに相応の協議と時間を要するが、この自治体間の結びつきを生かせば、時代の要請に俊敏に応じることも可能だ。こうした密度の高い関係性がやがて国や世界を動かしていくことも想像に難くない。

国際交流から一歩進んだ、静岡県が進める〝ふじのくにの地域外交〟には、自治体の新たなチャレンジとして、多くの期待が寄せられている。

2014年5月、モンゴル国工業・農牧業省と経済交流に関する覚書に調印

2013年、静岡県の県民交流団が訪れた際に行われた歓迎イベント

2012年11月、モンゴルの小中学生が静岡県庁を訪れた

ドルノゴビ県から友好提携1　周年を記念して寄贈されたゲル

2011年7月、モンゴル国へ県民交流団を派遣し、ドルノゴビ県と友好協定を締結

2010年11月、静岡県知事がドルノゴビ県と覚書を交わす

ドルノゴビ県の県章。同県は恐竜の化石が発掘される場所としても有名

8月21日「県民の日」は静岡県の誕生日。「県民の日」にちなんで〝ふじのくに〟静岡県を身近に感じる機会となるよう、県内各地で多彩なイベントを開催します。問合せ：県広報課054-221-3360